

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和5年8月24日(2023.8.24)

【公開番号】特開2022-29876(P2022-29876A)
【公開日】令和4年2月18日(2022.2.18)
【年通号数】公開公報(特許)2022-030
【出願番号】特願2020-133437(P2020-133437)
【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 6 1 1 B

A 6 3 F 5/04 6 9 1 A

10

【手続補正書】
【提出日】令和5年8月16日(2023.8.16)

【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項1】

第1制御手段と、

第2制御手段と、

を備え、

第1制御手段は、第1遊技状態から第2遊技状態へ移行させることが可能であるよう構成されており、

第2制御手段は、第1の遊技機情報が第1の期間ごとに外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

30

第2制御手段は、第2の遊技機情報が第2の期間ごとに外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

第1の期間は第2の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

第2の期間は第1の期間の倍数であるよう構成されており、

第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいて第2の遊技機情報を外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が所定値（所定値は1以上の値）であった場合は、当該第2タイミングにおいて第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能であるよう構成されている

40

遊技機。

【手続補正2】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0005
【補正方法】変更

50

【補正の内容】

【0005】

本発明は、

第1制御手段と、

第2制御手段と、

を備え、

第1制御手段は、第1遊技状態から第2遊技状態へ移行させることが可能であるよう構成されており、

第2制御手段は、第1の遊技機情報が第1の期間ごとに外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

第2制御手段は、第2の遊技機情報が第2の期間ごとに外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

第1の期間は第2の期間よりも短い期間であるよう構成されており、

第2の期間は第1の期間の倍数であるよう構成されており、

第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であった場合は、当該第2タイミングにおいて第2の遊技機情報を外部に向けて送信可能であるよう構成されており、

第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能な第1タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が0であり、当該第1タイミングから第1の期間が経過したタイミングであって遊技機の起動が完了してから第2の期間が経過した第2タイミングにて第1遊技状態であり、ベット数が0であり、付与数が所定値（所定値は1以上の値）であった場合は、当該第2タイミングにおいて第1の遊技機情報を外部に向けて送信可能であるよう構成されている態様である。

また、本発明は、

第1周期に到達する毎に外部のユニットに送信される第1情報群と、

第1周期より長い第2周期に到達する毎に外部のユニットに送信される第2情報群と、遊技価値に関する所定の情報を記憶可能な所定の記憶領域と

を備え、

第2周期に到達したタイミングと第1周期に到達したタイミングが同一のタイミングであって、所定の記憶領域に記憶されている値が「0」である場合は、第2情報群を送信する場合があるよう構成されており、

第2周期に到達したタイミングと第1周期に到達したタイミングが同一のタイミングであって、所定の記憶領域に記憶されている値が「0」でない場合は、第1情報群を送信するよう構成されていることを特徴とする態様であってもよい。

10

20

30

40

50